

## ◇営農基礎コース

### 【営農基礎講座】

コースの 特徴	講師陣は、アグリビジネスアカデミーの専属講師が担当し、わかりやすく 楽しく説明します。 午前は講義を、午後は圃場で実習を行います。		
対 象 者	次の条件をすべて満たす方 ・県内在住か県内移住予定の方 ・耕作可能な農地がある方 ・農業をしている、または就農予定の方 ・農業に関心があり、基礎的な農業技術を学びたい方 ・農業参入を考えている企業の従業員の方		
内 容 等	野菜・果樹の栽培、土壌肥料、病害虫などの基礎講義、野菜栽培を中心 とした実習など 講義:午前（9時30分 ～ 12時） 実習:午後（13時 ～ 15時30分）		
募集期間	春夏クラス	令和4年1月17日 ～ 4年3月4日	
	秋冬クラス	令和4年6月6日 ～ 4年7月15日	
開講時期	春夏クラス	令和4年4月～4年8月	各クラス:月1～4回、 水曜日または木曜日、 【全15回】
	秋冬クラス	令和4年8月～5年2月(予定)	
開講場所	講義:農林水産総合技術支援センター講義室、実習:センター圃場		
定 員	各クラス:30名		
受講料	各クラス:9,300円		
受講申込み の方法	綴じ込みまたは農大ホームページ( <a href="https://www.tonodai.ac.jp/">https://www.tonodai.ac.jp/</a> )の 受講申し込み書にご記入の上、農大まで郵送してください。		
その他	受講料とは別に、教科書代、傷害保険料が必要です。		

## ◇営農基礎コース

### 【農業学びネット(通信講座)】

対 象 者	次の条件をすべて満たす方 ・県内在住、または県内移住予定の方 ・県内に耕作可能な農地がある、または確保予定の方 ・県内で農業を始めたい、または既に就農している初心者の方
内 容 等	農業に関する基礎知識と果樹・野菜栽培の基本技術についてeメールと教科書を通じて学習 ・「農業経営」に関する共通課程6講義についてインターネット配信を実施
募集期間	令和4年5月9日～4年5月下旬
開講時期	令和4年6月～5年2月
定 員	20名
受講料	無料、教科書代(4,000円程度)等の実費は自己負担
受講申込みの方法	農業大学校ホームページ( <a href="https://www.tonodai.ac.jp/">https://www.tonodai.ac.jp/</a> )内の「農業学びネット」をご覧ください。申し込み受付は令和4年5月9日から始め、申し込み順に選考を行い、定員に達し次第締め切ります。ただし、締切りは5月下旬予定です。

## ◇営農基礎コース

### 【公開講座】

講 座 名	実施 月日	対 象 者	定員	内 容
秋冬野菜栽培のポイント	7月 上旬	県内農業者等	20名 程度	葉菜類栽培のポイント
子ども加工講座	8月	小学生(4～6年生)とその保護者等 (祖父母・学童保育指導員も可)	20名 程度	六次産業化研究施設の加工 機器を使ってお菓子づくり
落葉果樹の整枝剪定	12月	県内農業者等	20名 程度	落葉果樹の整枝剪定について
春夏野菜栽培のポイント	3月	県内農業者等	20名 程度	果菜類栽培のポイント

●実施日は、決まり次第、農大ホームページ(<https://www.tonodai.ac.jp/>)でお知らせします。

●内容は、多少変更することがあります。

●受講申込み方法

・官製往復はがきに、次の項目をご記入の上、農大まで郵送してください。

- ①講座名(はがき1枚に1講座) ②氏 名  
③住 所(〒番号も含めて) ④電話番号(昼間に連絡のつく番号)

・申込期間は開講日の1ヶ月前～2週間前まで(当日消印有効)とし、定員に達し次第締め切ります。

・時間帯等については、受講決定通知時にお知らせします。

・また、E-mail: nougyoudaigakkou@pref.tokushima.jpへ上記①～④を送信いただいても受付します。

## ◇営農基礎コース

### 【地域あぐり講座】

開講時期	対 象 者	内 容	受講料
令和4年4月 ～5年3月	①県内で就農している、または就農を予定しており、農業技術等を高めたい方 ②県内で農産物加工技術を高めた方	地域の農業支援センターを通じて、先進農家で5日間程度の実地研修を行う。 * 就農に関心のある農業未経験者を対象とした「農業入門コース」は1日程度	無料

#### ●受講申し込み方法

随時募集を行っていますので、綴じ込みの受講申込書にご記入のうえ、県庁経営推進課に郵送またはファクシミリで申し込んでください。書類選考により受講者を決定します。

経営推進課 〒770-8570 徳島市万代町1-1 ◇電話(088)621-2429 ◇ファクシミリ(088)621-2858

詳細については、経営推進課ホームページ

(<https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippannokata/sangyo/nogyo/2010031800034>) をご覧ください。

#### ○各地域における研修受け入れ可能品目

地域あぐり システムの名称 (支援センター名)	管轄市町村	研修品目※
徳島地域あぐり	徳島市、小松島市、勝浦町、 上勝町、佐那河内村、石井町、 神山町	<u>ほうれんそう</u> 、 <u>かんしょ(砂地畑)</u> 、 <u>水稲</u> 、 <u>すだち</u> 、 <u>温州みかん</u> 、 <u>ブロッコリー</u> 、 <u>いちご</u> 、 <u>施設キュウリ</u>
鳴門藍住地域あぐり	鳴門市、松茂町、北島町、 藍住町、板野町、上板町	<u>洋にんじん</u> 、 <u>かんしょ(砂地畑)</u> 、 <u>だいこん</u> 、 <u>なし</u> 、 <u>れんこん</u>
阿南地域あぐり	阿南市、那賀町	<u>たけのこ</u> 、 <u>いちご</u> 、 <u>ゆず</u> 、 <u>すだち</u> 、 <u>なのはな</u> 、 <u>ブロッコリー</u> 、 <u>オクラ</u> 、 <u>ケイトウ</u> 、 <u>オモト</u>
美波地域あぐり	美波町、牟岐町、海陽町	<u>施設キュウリ</u> 、 <u>洋にんじん</u> 、 <u>なのはな</u> 、 <u>施設ギク</u> 、 <u>施設バラ</u> 、 <u>養鶏</u> 、 <u>オクラ</u>
吉野川地域あぐり	吉野川市、阿波市	<u>促成なす</u> 、 <u>いちご</u> 、 <u>促成ミニトマト</u> 、 <u>レタス</u> 、 <u>ぶどう</u>
美馬地域あぐり	美馬市、つるぎ町	<u>洋にんじん</u> 、 <u>ブロッコリー</u> 、 <u>レタス</u> 、 <u>夏秋なす</u> 、 <u>ぶどう</u>
三好地域あぐり	三好市、東みよし町	<u>夏秋いちご</u> 、 <u>夏秋なす</u> 、 <u>夏秋トマト</u> 、 <u>茶</u>

※アンダーラインの入った研修品目は「農業入門コース」の受け入れが可能なもの、研修品目は変更することがあります。

## ◇営農技術向上コース

### 【農業経営者育成講座】

コースの特徴	講師陣は、アグリビジネスアカデミーの専属講師が担当し、わかりやすく楽しく説明。午前は講義を、午後は圃場で実習を行います。
対 象 者	次の条件をすべて満たす方 ・県内在住、または県内移住予定の方 ・耕作可能な農地が十分ある方で、既に就農している、または就農予定の方 ・農業技術に加え、経営力を身につけたい方
内 容 等	①「農業技術」に関する専門課程 野菜、果樹、作物、花き、畜産、土壌肥料、病害虫などの講義
	②「農業経営」に関する共通課程（詳細については、下欄※を参照） 人を雇用する場合の労務管理やマーケティング、農業経営に欠かせない計数管理などの講義
	③実習 野菜栽培を中心とした、は種、定植、管理、収穫などの実習
募集期間	令和4年1月17日～4年3月4日
開講時期	令和4年4月～5年2月【全36回】 ・「農業技術」に関する専門課程は、月1～4回、火曜日【30回】 ・「農業経営」に関する共通課程は、金曜日 （講師の都合により曜日が変わることがあります）【6回】
開講場所	講義：農林水産総合技術支援センター講義室、実習：センター圃場
定 員	20名
受講料	22,320円
受講申込みの方法	綴じ込みまたは農大ホームページ( <a href="https://www.tonodai.ac.jp/">https://www.tonodai.ac.jp/</a> )の受講申込み書にご記入の上、農大まで郵送してください。
その他	受講料とは別に、教科書代、傷害保険料が必要です。

### ※ 講座の内容

#### 「農業経営」に関する共通課程

科 目	内 容
食品の流通・販売	産直販売の実際と現状などについて事例を交えて学ぶ。
労務管理と経営戦略	労務管理(人的資源管理)と経営戦略の内容を身につける。
農業経営と計数管理	貸借対照表、損益計算書の基本的な見方と損益分岐点分析による計数管理の習得を目指す。
経営戦略概論・マーケティング概論	「経営戦略」をテーマに、これから農業に必要な基礎的な経営力を身につける。
農業における情報システムについて	農業分野における情報システムの現状と応用について事例をもとに学ぶ。

## ◇営農技術向上コース

### 【農業機械安全使用者養成講座】

#### 1 大型特殊自動車（農耕用限定）

対象者	次のいずれかの方
	<p>(1) 県内在住の認定新規就農者、認定農業者（本人及び従事者（家族を含む））、県内の集落営農組織の従事者、県内のファームサービス事業体の従事者</p> <p>(2) 県内在住の農業者</p> <p>注）上記の(1)の方を優先書類選考の対象者として、定員のうち一定数に対して優先的に選考しますので、受講申込書と併せて、次の書類を提出してください。</p> <p>書類の提出がない場合は、優先書類選考の対象者となりませんのでご了承ください。</p> <p>① 認定新規就農者・認定農業者は、「<u>認定証の写し</u>」を提出</p> <p>② 認定農業者・集落営農組織・ファームサービス事業体それぞれの従事者は、「<u>当該事業体等の従事者であることを証するものの写し</u>」を提出（様式は問いません）</p>

#### ○講座の概要

##### 【春期クラス】

募集方法を変更しました

募集期間		令和4年1月17日(月)～3月4日(金)		
内 容		開講時期	定員	受講料
(1) 農業機械の安全使用に関する講義と演習【3日間】		5/25～5/27	30名	受講料:4,320円
(2) 大型特殊自動車(農耕用限定)の安全運転に関する実習【6日間】		6/1～6/3, 6/6～6/8		
○本講座修了者を対象に、徳島県警察本部が実施する免許試験の日程 ・大特免許試験(6/9)      ・大特免許交付(6/10)				

##### 【秋期クラス】

募集期間	令和4年7月1日(金)～7月25日(月)		※募集期間にご注意ください	
内 容		開講時期	定員	受講料
(1) 農業機械の安全使用に関する講義と演習【3日間】		8/31, 9/1, 9/2	30名	受講料:4,320円
(2) 大型特殊自動車(農耕用限定)の安全運転に関する実習【6日間】		9/7～9/9, 9/12～9/14		
○本講座修了者を対象に、徳島県警察本部が実施する免許試験の日程 ・大特免許試験(9/15)      ・大特免許交付(9/16)				
※受験には、別途、手数料が必要です。				

受講申し込み方法	<p>綴じ込み又はホームページ上 (<a href="https://www.tonodai.ac.jp/">https://www.tonodai.ac.jp/</a>) の受講申込書にご記入の上、農大まで封書で郵送してください。</p> <p>※ 書類審査は先着順ではありませんので、募集期間内にお申し込みください。</p> <p>※ 募集期間より前にお申込みいただいても受理できませんので、無効とさせていただきます。</p> <p>※ 受講者は書類選考により決定し、受付終了後1～2週間程度で受講の可否を、応募者全員に郵送で通知します。</p>
注意事項	<p>1 新型コロナウイルス等の影響により、開講時期が変更になる場合がありますので、農大まで電話(088-674-1026)にてお問い合わせいただくか、農大ホームページ (<a href="https://www.tonodai.ac.jp/">https://www.tonodai.ac.jp/</a>) でご確認ください。</p> <p>2 大型特殊自動車免許(農耕用限定)の受験には「普通自動車運転免許」が必要です。</p> <p>3 受講料の他に、傷害保険料が必要です。</p> <p>4 「安全運転に関する実習」は、「農業機械の安全使用に関する講義と演習」を受講した人のみ対象とします。ただし、2010(平成22)年度以降に本講座を受講された方は、「講義と演習」は免除されます。</p> <p>5 令和4年度は「(1)農業機械の安全使用に関する講義と演習」のみの受講はできません。</p>

## 2 けん引（農耕用限定）

対象者	次のいずれかの方
	(1) 県内在住の認定新規就農者、認定農業者（本人及び従事者（家族を含む））、県内の集落営農組織の従事者、県内のファームサービス事業体の従事者 (2) 県内在住の農業者 注）上記の(1)の方を優先書類選考の対象者として、定員のうち一定数に対して優先的に選考しますので、受講申込書と一緒に次の書類を提出してください。 書類の提出がない場合は、優先書類選考の対象者となりませんのでご了承ください。 ① 認定新規就農者・認定農業者は、「 <b>認定証の写し</b> 」を提出 ② 認定農業者・集落営農組織・ファームサービス事業体それぞれの従事者は、「 <b>当該事業体等の従事者であることを証するものの写し</b> 」を提出（様式は問いません）

### ○講座の概要

募集期間		令和4年7月1日(金)～7月25日(月)		
内 容		開講時期	定員	受講料
(1) 農業機械の安全使用に関する講義と演習 【3日間】		8/31, 9/1, 9/2	10名	4,320円
(2) けん引(農耕用限定)の安全運転に関する実習 【6日間】		10/4～10/7, 10/11, 12		
(3) けん引(農耕用限定)の安全運転に関する実習のみの受講 【6日間】		(2)と同じ		2,460円
○本講座修了者を対象に、徳島県警察本部が実施する免許試験の日程 ※受験には、別途、手数料が必要です。 ・けん引免許試験(10/13) ・けん引免許交付(10/14)				
受講申し込み方法		綴じ込み又はホームページ上( <a href="https://www.tonodai.ac.jp/">https://www.tonodai.ac.jp/</a> )の受講申込書にご記入の上、農大まで封書で郵送してください。 受講者は書類選考により決定し、受付終了後1～2週間後に受講の可否を郵送にて、応募者全員に通知します。		
注意事項		1 新型コロナウイルス等の影響により、開講時期が変更になる場合がありますので、農大まで電話(088-674-1026)にてお問い合わせいただくか、農大ホームページ( <a href="https://www.tonodai.ac.jp/">https://www.tonodai.ac.jp/</a> )でご確認ください。 2 けん引免許(農耕用限定)の受験には「大型特殊自動車免許」または「大型特殊自動車免許(農耕用限定)」が必要です。 3 受講料の他に、傷害保険料が必要です。 4 「安全運転に関する実習」は、「農業機械の安全使用に関する講義と演習」を受講した人のみ対象とします。ただし、2010(平成22)年度以降に本講座を受講された方は、「講義と演習」は免除されます。 5 令和3年度は「安全使用に関する講義と演習」のみの受講はできません。 これに伴い、けん引免許取得希望者の「安全使用に関する講義と演習」は、当面の間は秋期での受講のみとさせていただきますのでご了承ください。		

## ◇営農技術向上コース

### 【専門技術研修】

クラス名	野菜クラス、花きクラス、果樹クラス
対象者	次のすべてを満たす方 ① 県内在住で、県内で農業に従事している方、または今後従事する予定の方 ② 農業に関する相当の知識を有する方 ③ 18歳～50歳の方
内 容	農林水産総合技術支援センター農産園芸研究課で野菜・花・果樹について実習中心の研修を行う。
募集期間	令和4年3月4日(金)まで（当日消印有効）
開講時期	令和4年4月～5年3月（受講期間、受講回数は個別対応）
定 員	若干名
受 講 料	1日当たり620円
受講申込みの方法	綴じ込みまたは農大ホームページ( <a href="https://www.tonodai.ac.jp/">https://www.tonodai.ac.jp/</a> )の受講申込み書にご記入の上、農大まで郵送してください。



## ◇6次産業化コース

コース の特徴	<p>講師陣は、県内3大学の教員や税理士・社会保険労務士・中小企業診断士、県内企業経営者等が担当します。</p> <p>講義は座学と演習中心で進め、最終的には受講者自らが目指すアグリビジネスプラン(経営改善計画)を作成します。</p> <p>さらに、当コースは、一般社会人向けの「食の6次産業化プロデューサー(愛称:食Pro)」の「育成プログラム」に承認されており、レベル3の資格取得を目指します。</p>
対 象 者	県内在住の農業者、または農業の6次産業化に関心がある方
内 容 等	<p>①「食」に関する専門課程 食品加工学、食品衛生学、食品機能学、商品開発、食品の流通・販売、食の安全安心を学びます。</p> <p>②「農業経営」に関する共通課程 人を雇用する場合の労務管理や農業の情報システム化、農業経営に欠かせない計数管理を学びます。</p> <p>③「農業経営」に関する専門課程 農業経営のリスク管理や資金計画、マーケティングとともに、農業経営者の成功事例から学びます。</p> <p>④実践課程 食品加工会社や農業法人での実践研修やアグリビジネスプランの作成、発表を行います。</p>
募集期間	令和4年1月17日～4年3月4日
開講時期	<p>令和4年4月～5年3月 【全24回】</p> <p>月2～3回、金曜日(講師の都合で曜日を変更することがあります。)</p> <p>※欠席した講義を後日配信するビデオで視聴することができます。</p>
開催場所	農林水産総合技術支援センター講義室、その他現地での研修も実施します。
定 員	20名
受講料	14,880円
受講申込み の方法	綴じ込みまたは「農大ホームページ( <a href="https://www.tonodai.ac.jp/">https://www.tonodai.ac.jp/</a> )」の受講申込み書にご記入の上、農大まで郵送してください。
その他	受講料とは別に、教科書代、教材費が必要な場合があります。

## 6次産業化コース講座内容

### 1. 「食」に関する専門課程

科 目		内 容
1	食品加工の基礎	食品加工の基礎について、特に農産物加工を中心に、基礎的な知識を身につける。
	6次産業化の推進について	6次産業化の動きと支援制度について学びその概要を理解するとともに、県内の事例を学び、6次産業化の基礎的な知識を身につける。
2	食品の保存・加工技術	食品加工の手法や原理、食品素材の特徴を学び、貯蔵・保存の原理を学ぶ。
3	食品の衛生管理	食品に起因する健康被害及び微生物について、それら疾病の特徴や危害因子の特徴及び防止方法の基礎的な知識を学ぶ。
4	食の安全安心	農産物の安全安心を担保する手法に関する知識を身につける。(食品表示・HACCP・米のトレーサビリティ・GAP)
5	商品開発の実際	地域の特産物や資源の活用方法の検討及び商品開発に必要な農産加工技術の実践と農産加工品の品質評価手法を学ぶ。
6	野菜生産と実習	野菜の特性と栽培技術を学び、ほ場において栽培実習を行う。
7	食品の栄養と機能性	新たな食品開発のための基礎知識として、食品や食品成分に含まれる物質の構造や機能について学ぶ。

### 2. 「農業経営」に関する共通課程

科 目		内 容
1	食品の流通・販売	産直販売の実際と現状などについて事例を交えて学ぶ。
2	労務管理と経営戦略	労務管理(人的資源管理)と経営戦略の内容について身につける。
3	農業経営と計数管理	貸借対照表、損益計算書の基本的な構造の理解と損益分岐点分析による計数管理の習得を目指す。
4	商品開発の考え方とOEM	商品開発の考え方やOEMの実例について学ぶ。
5	経営戦略概論・マーケティング概論	「経営戦略」をテーマに、これから農業に必要な基礎的な経営力を身につける。
6	農業における情報システムについて	農業分野における情報システムの現状と応用について事例をもとに学ぶ。

### 3. 「農業経営」に関する専門課程

科 目		内 容
1	マーケティング論	マーケティングの基礎から応用までの知識を身につけることを目指す。
2	農業経営のリスク管理	農業における損害防止と補てんの仕組みについて学ぶ。
3	市場流通と産地づくり	卸売市場の現状と今後・産地への要望について話を聞く。 視察及び講義
4	農業経営における資金計画	的確な資金調達に必要な知識・スキルを習得する。
5	農業分野における各種補助事業と資金の活用について	補助事業や各種資金の知識を習得する。
6	農地・法人制度	農地法と農業法人制度の概要について理解する。
7	農業経営における経営戦略	国内トップレベルの農業経営者の成功事例から、経営戦略や経営理念を学ぶ。

### 4. 実践課程

#### (1) 農業実践研修

科 目		内 容
1	農業実践研修	農業法人や食品加工会社などにおいて実践的な研修を行う。

#### (2) アグリビジネスプラン作成講座

科 目		内 容
1	アグリビジネスプラン作成のポイントと作成演習	自らが目指すアグリビジネスプラン(経営改善計画)を自主的に作成する。
2	アグリビジネスプランの発表	作成されたアグリビジネスプランを、関係者に発表する。



## ◇徳島かんきつアカデミー

### 【生産技術力向上コース】

コースの特徴	かんきつ栽培の主要な技術を必要に応じ、選択して受講できます。明日からの果樹栽培に役立つ技術を講義と実習で身につけていただきます。
対 象 者	次の条件の全てを満たす方 ① 令和4年4月1日現在で満18歳以上の方 ② 徳島県内で就農している方、就農を予定している方、又は農業参入を考えている企業等の従業員 ③ 県内在住又は県内移住予定者 ④ 令和4年4月1日から1年間の傷害保険に加入する方
内 容 等 (詳細はカリキュラム参照)	I 接木と整枝剪定(かんきつの接木、整枝剪定) II 果実栽培管理(早期成園化技術、栽培管理の基礎、品質管理の基礎、農業機械の基礎、病虫害防除、土壌肥料の基礎、雑草管理、鳥獣被害防止対策) 等
募集期間	令和3年9月15日(水)～4年1月31日(月)
開講期間	令和4年4月～5年3月、週に1～2回開校 ※ 選択した科目により異なります。次頁のカリキュラムを参照してください。
開講場所	農業大学校 <b>勝浦庁舎</b> (勝浦郡勝浦町大字沼江字中筋11-12) 一部講義については、センター※ 石井庁舎(石井町)
定 員	25名程度
受 講 料	I)接木と整枝剪定 : 4,100円 (年間) II)果実栽培管理 : 8,200円 (年間)
受講申込み方法	綴じ込みまたは「農業大学校ホームページ ( <a href="https://tonodai.ac.jp/academy/kankitsu.html">https://tonodai.ac.jp/academy/kankitsu.html</a> )」の受講申込書と志望理由書にご記入の上、郵送又は持参により農業大学校(勝浦)まで申し込んでください。 郵送の場合は「受講申込書類在中」と朱書きし、必ず「簡易書留郵便」により、 ※書面審査により受講者を決定します。
そ の 他	受講料とは別にテキスト代、傷害保険料等の経費が必要です。 作業着・長靴・カッパ・手袋・剪定ばさみなど個人の所有物となるものは各自ご準備ください。

※ センター: 徳島県立農林水産総合技術支援センター

**令和4年度 徳島かんきつアカデミー カリキュラム**  
【生産技術力向上コース】

研修科目 履修項目	研 修 内 容	研修の時期・ 日数（特定） <sup>注2</sup>	
		時期	日数
I 接木と整枝剪定			
1 整枝・剪定	ミカン・スダチ・ユズの整枝剪定	3,4月	8.0
2 接木	接木の方法	5,8月	2.0
II 果実栽培管理			
1 栽培技術			
①早期成園化技術	①計画密植、大苗移植による早期成園化	3,4,6月	1.0
	②苗木の定植・育苗・幼木管理	通年	1.0
②栽培管理の基礎	①農業気象災害の発生とその対策	6～9月	1.0
	②枝水挿し法等による着花予測技術	1月	1.0
	③隔年結果防止対策、ミカンの交互結実法	6,7月	1.0
	④高糖度ミカン生産技術	4～11月	1.0
③品質管理の基礎	①ミカン摘果・スダチ摘果摘葉・ユズ摘果方法	7,8月	1.0
	③ミカン・ユズ・スダチの収穫、選果選別・出荷方法	9,11,12月	2.0
	③ミカン・スダチ・ユズの予措と貯蔵管理	2月	1.0
	④農産物の流通と販売	9月	1.0
④農業機械の基礎	省力的・効率的な機械の活用	4,10月	1.0
2 病虫害防除と土壌管理			
①病虫害防除	①病虫害の生理生態の解説	5月	1.0
	②病虫害防除対策	5～10月	2.0
②土壌肥料の基礎	①土壌肥料の概論とカンキツの肥培管理技術	6月	1.0
	②生理障害と栄養診断による対策	11月	1.0
	③土壌分析と土壌改良	1月	1.0
③雑草管理	雑草の種類と管理方法	4～9月	1.0
④鳥獣被害防止対策	鳥獣被害防止対策の実習	10月	1.0
		日数計	30.0

注1 研修科目「I 接木と整枝剪定」、「II 果実栽培管理」を選択してください(複数選択可)。

注2 研修の時期、日数は変更することがあります。後日送付するスケジュール表をご確認ください。

## ◇徳島かんきつアカデミー

### 【中核的人材育成コース】

コースの特徴	かんきつ栽培の初歩から応用まで、理論と技術を講義と実習を通して身につけてもらい、かんきつ農家として独立就農できるレベルの実践的知識・技術の習得を目指します。
対 象 者	次の条件の全てを満たす方 ① 令和4年4月1日現在で満18歳以上の方 ② 徳島県内で就農している方、就農を予定している方、又は農業参入を考えている企業等の従業員 ③ 県内在住又は県内移住予定者 ④ 令和4年4月1日から1年間の傷害保険に加入する方
内 容 等 (詳細はカリキュラム参照)	I 果樹栽培の基礎(果樹園芸学の基礎、農業経営の基礎、農家等研修) II 接木と整枝剪定(かんきつの接木、整枝剪定) III 栽培管理(早期成園化技術、栽培管理の基礎、品質管理の基礎、農業機械の基礎、スマート農業) IV 病虫害防除と土壌管理(病虫害防除、土壌肥料の基礎、雑草管理、鳥獣被害防止対策) 等
募集期間	令和3年9月15日(水)～4年1月31日(月)
開講期間	原則1年間(令和4年4月～5年3月)
開講場所	農業大学校 <b>勝浦庁舎</b> (勝浦郡勝浦町大字沼江字中筋11-12) 一部講義については、センター※ 石井庁舎(石井町) 県内かんきつ農家等
定 員	5名程度
受 講 料	16,820円(年間)
受講申し込みの方法	綴じ込みまたは「農大ホームページ ( <a href="https://tonodai.ac.jp/academy/kankitsu.html">https://tonodai.ac.jp/academy/kankitsu.html</a> )」の受講申込書と志望理由書にご記入の上、郵送又は持参により農業大学校(勝浦)まで申し込んでください。 郵送の場合は「受講申込書類在中」と朱書きし、必ず「簡易書留郵便」により、送付(募集最終日の消印まで有効)してください。 ※適宜、選考審査(書面審査・面接審査)を実施し、受講者を決定します。
そ の 他	受講料とは別にテキスト代、傷害保険料等の経費が必要です。 作業着・長靴・カッパ・手袋・剪定ばさみなど個人の所有物となるものは各自ご準備ください。

※ センター: 徳島県立農林水産総合技術支援センター

# 令和4年度 徳島かんきつアカデミー カリキュラム

## 【中核的人材育成コース】

研修科目		研 修 内 容	研修の時期・ 日数 <sup>注1</sup>	
履修項目			時期	日数
I 果樹栽培の基礎				
1 果樹園芸学の基礎	①果樹の生理・生態・分類学 等		4～9月	3.0
	②果樹の生育、結果習性 等		4～9月	3.0
	③農産物の加工技術		1月	1.0
	④6次産業化の基礎		5,6月	2.0
2 農業経営の基礎	①農業経営の基礎		10月	1.0
	②農業簿記の基礎		通年	2.0
3 農家等研修	カンキツ栽培等の現地研修・プロジェクト活動等		通年	40.0
II 接木と整枝剪定				
1 整枝・剪定	ミカン・スダチ・ユズの整枝剪定		3,4月	26.0
2 接木	ミカン・スダチ・ユズの接木方法		5,8月	8.0
III 栽培管理				
1 早期成園化技術	①計画密植、大苗移植による早期成園化		3,4,6月	6.0
	②苗木の定植・育苗・幼木管理		通年	5.0
2 栽培管理の基礎	①ほ場の管理方法		通年	5.0
	②農業気象災害の発生とその対策		6～9月	4.0
	③枝水挿し法等による着花予測技術		1月	1.0
	④隔年結果防止対策、ミカンの交互結実法		6,7月	4.0
	⑤高糖度ミカン生産技術		4～11月	7.0
3 品質管理の基礎	①ミカン摘果・スダチ摘果摘葉・ユズ摘果方法		7,8月	15.0
	②ミカン・ユズ・スダチの収穫・選別・出荷		9,11,12月	20.0
	③ミカン・スダチ・ユズの予措と貯蔵管理		1～3月	12.0
	④農産物の流通と販売		9月	2.0
4 農業機械の基礎	省力的・効率的な機械の活用		4,10月	2.0
5 スマート農業	環境測定・ドローン等実習		通年	3.0
IV 病虫害防除と土壌管理				
1 病虫害防除	①病虫害の生理生態の解説		5月	1.0
	②病虫害防除対策		5～9月	12.0
2 土壌肥料の基礎	①土壌肥料の概論とカンキツの肥培管理技術		6月	3.0
	②生理障害と栄養診断による対策		11月	2.0
	③土壌分析と土壌改良		1月	2.0
3 雑草管理	雑草の種類と管理方法		4～9月	6.0
4 鳥獣被害防止対策	鳥獣被害防止対策の実習		10月	2.0
注1 研修の時期、日数は変更することがあります。後日送付するスケジュール表をご確認ください。			日数計	200.0

# 営農基礎講座 受講申込書

申込 令和 年 月 日

クラス名 (○で囲む)	( 春 夏 ・ 秋 冬 ) ク ラ ス	
希望曜日 (○で囲む)	水曜日 ・ 木曜日 ・ どちらでもよい ※受講曜日はご希望に添えない場合がありますので、ご了承ください。	
フリガナ		性 別 (注)
氏 名		
住 所	〒 —	
生年月日	昭和 ・ 平成 年 月 日生 ( 歳 )	
電 話	( ) —	
ファクシミリ	( ) —	
日中の連絡先 (携帯電話など)	( ) —	
E-mail		

以下は書類選考の参考としますので、必ずお答えください。

1. 申し込み時点での農業に関する状況について、該当する番号を○で囲んでください。	
① 既に就農している（専業）（	年前から）
② 他の仕事をしながら農業もしている（兼業）（	年前から）
③ 今は就農していないが就農する予定である（	年 月頃から）
④ その他（	）
2. 現在、耕作可能な農地面積はどのくらいありますか。	
現在栽培している農地（	a）
休耕等で栽培していない農地（	a）
現在貸しているが返却予定のある農地（	a）
その他（	a）
3. 現在作物を作っている人は、その栽培品目と栽培面積を記入してください。	
作物名（	a）
作物名（	a）
作物名（	a）
4. 当講座に期待されていることは何ですか。	
5. 今後の農業経営について、栽培品目、栽培面積、販売額見込み、将来の構想などについて記入してください。 (記入欄が足りない場合は裏面もご使用ください。)	
※これまでの受講歴の有・無を記入してください。(公開講座、農業機械安全使用者養成講座を除く)	
・ ない	・ ある ( 年度 講座名 )

この申込書は就農支援のために利用するもので他の目的で利用することはありません。徳島県立農林水産総合技術支援センター内で共有化し受講後のフォローアップに役立てるため利用する場合があります。

(注) 性別は答えたくない方は記入不要です。

## 地域あぐり講座 受講申込書(一般用)

申込 令和 年 月 日

フリガナ			性 別 (注)
氏 名			
住 所	〒 —		
生年月日	昭和 ・ 平成 年 月 日生 ( 歳)		
電 話	( ) —		
ファクシミリ	( ) —		
日中の連絡先 (携帯電話など)	( ) —		
E-mail			
研修希望作目		研修希望地域	
その他特記事項	(宿泊場所の必要性、研修条件等あれば記載)		

以下は書類選考の参考としますので、必ずお答えください。

1. 申し込み時点での農業に関する状況について、該当する番号を○で囲んでください。	
① 既に就農している（兼業を含む）（	年前から）
② 今は就農していないが就農する予定である（	年 月頃から）
③ その他（	
2. これまでに、農業の経験又は農業に関する研修受講の経歴がありましたら、記入してください。	
3. この研修に期待されていることを記入してください。	
4. 研修終了後の農業経営の予定について、具体的に記入してください。	

(注) 答えたくない方は記入不要です。なお、更衣室等の都合のため別途聞きとりする場合があります。  
この申込書は就農支援のために利用するもので他の目的で利用することはありません。徳島県立農林水産総合技術支援センター内で共有化し受講後のフォローアップに役立てるため利用する場合があります。



## 地域あぐり講座 受講申込書(農業入門コース用)

申込 令和 年 月 日

フリガナ			性 別 (注)
氏 名			
住 所	〒                      ー		
生年月日	昭和      ・      平成                      年                      月                      日生 (                      歳)		
電 話	(                      )                      ー		
ファクシミリ	(                      )                      ー		
日中の連絡先 (携帯電話など)	(                      )                      ー		
E-mail			
研修希望科目		研修希望地域	
その他特記事項	(宿泊場所の必要性、研修条件等あれば記載)		

以下は書類選考の参考としますので、必ずお答えください。

<b>1. 就農意欲(該当を ○ で囲む)</b>  ① 就農に関心がある ② 就農に強い関心がある ③ 就農したいと考えている ④ できるだけ早く就農したい	<b>2. 農業経験(該当を ○ で囲む)</b>  ① まったくなし ② 学童農園程度 ③ 家庭菜園程度 ④ その他 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">           (④の方は具体的に記入)         </div>
<b>2. これまでに、農業に関する研修受講の経歴がありましたら、記入してください。</b> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; margin-top: 5px;"></div>	
<b>3. この研修に期待されていることを記入してください。</b> <div style="border: 1px solid black; height: 60px; margin-top: 5px;"></div>	
<b>4. 研修終了後の農業経営の予定について、具体的に記入してください。</b> <div style="border: 1px solid black; height: 80px; margin-top: 5px;"></div>	

(注) 答えたくない方は記入不要です。なお、更衣室等の都合のため別途聞きとりする場合があります。  
 この申込書は就農支援のために利用するもので他の目的で利用することはありません。徳島県立農林水産総合技術支援センター内で共有化し受講後のフォローアップに役立てるため利用する場合があります。

# 農業経営者育成講座 受講申込書

申込 令和 年 月 日

フリガナ			性 別 (注)
氏 名			
住 所	〒 —		
生年月日	昭和 ・ 平成	年 月 日生 ( 歳)	
電 話	( )	—	
ファクシミリ	( )	—	
日中の連絡先 (携帯電話など)	( )	—	
E-mail			

以下は書類選考の参考としますので、必ずお答えください。

1. 申し込み時点での農業に関する状況について、該当する番号を○で囲んでください。			
①	既に就農している（専業）（	年前から）	
②	他の仕事をしながら農業もしている（兼業）（	年前から）	
③	今は就農していないが就農する予定である（	年 月頃から）	
④	その他（		）
2. 現在、耕作可能な農地面積はどのくらいありますか。			
現在栽培している農地（ a ）、 休耕等で栽培していない農地（ a ）、 現在貸しているが返却予定のある農地（ a ）、その他（ a ）			
3. 現在作物を作っている人は、その栽培品目と栽培面積を記入してください。			
作物名（	）（ a ）	作物名（	）（ a ）
作物名（	）（ a ）	作物名（	）（ a ）
4. 当講座に期待されていることは何ですか。			
5. 今後の農業経営について、栽培品目、栽培面積、販売額見込み、将来の構想などについて記入してください。 (記入欄が足りない場合は裏面もご使用ください。)			
※これまでの受講歴の有・無を記入してください。(公開講座、農業機械安全使用者養成講座を除く)			
・ ない	・ ある	( 年度 講座名 )	

この申込書は就農支援のために利用するもので他の目的で利用することはありません。徳島県立農林水産総合技術支援センター内で共有化し受講後のフォローアップに役立てるため利用する場合があります。

(注) 性別は答えたくない方は記入不要です。

## 農業機械安全使用者養成講座 受講申請書

申請日 令和 年 月 日

クラス名 (○で囲む)	春 期 ク ラ ス                      ・                      秋 期 ク ラ ス
募集期間	春期クラス：令和4年1月17日～3月4日， 秋期クラス：令和4年7月1日～7月25日

注)先着順ではありませんので、募集期間内にお申し込みください。

なお、募集期間より前に申し込まれても受理できませんので、申込みは無効となります。

申請者	事業体等の名称		代表者の役職・氏名		
	住 所				
受講者	フリガナ				性 別 (注)
	氏 名				
	住 所		〒		
	生年月日		昭和 ・ 平成 年 月 日生 ( 歳)		
	電 話		( ) -		
	日中の連絡先 (携帯電話など)		( ) -		
	取得希望免許 (○で囲む)		① 大型特殊自動車(農耕用限定)免許 ・ ② 免許を取得しない		
	既取得免許 (○で囲む)		普通自動車免許を ① 取得している ・ ② 取得していない		
	大特(農耕用 限定)免許の 必要な理由 (具体的に)				
	優先対象 (○で囲む)		① 認定新規就農者 ② 認定農業者( 本 人 ・ 従事者等 ※○で囲む ) ③ 集落営農組織の従事者 ④ ファームサービス事業体の従事者 ※①、②の本人は「認定証の写し」を添付。 ②の従事者等は「認定証の写し」と「従事者等であることを証するものの写し」を添付。 ③、④は「事業体の従事者であることを証するものの写し」を添付。 添付がない場合は、いかなる理由に関わらず優先書類選考対象となりませんのでご了承ください。		
(経営規模)	耕作地	① 申請者の総耕作面積 ( アール ) ※賃借地を含む、受託面積は含まない ② 年間受託面積 ( ヘクタール ) ※ファームサービス事業体のみ記入			
	主要な栽培作物 (上位2つ)	① 作物名 ( )( アール ) ② 作物名 ( )( アール ) ③ 畜種名 ( 乳牛 ・ 肉用牛 ・ その他 )( 計 頭 ) ※畜産農家のみ記入			
所有するトラクターの状況 (出力等を記入)					

※ 受講者と申請者が同じ場合、申請者欄の「代表者の役職・氏名」、「住所」には「下記と同じ」とご記入ください。

(注) 性別は答えたくない方は記入不要です。

# 農業機械安全使用者養成講座 受講申請書

## 【県内在住の農業者用】

申請日 令和 年 月 日

クラス名 (○で囲む)	春 期 ク ラ ス ・ 秋 期 ク ラ ス
募集期間	春期クラス : 令和4年1月17日～3月4日, 秋期クラス : 令和4年7月1日～7月25日

(注) 先着順ではありませんので、募集期間内にお申し込みください。

なお、募集期間より前に申し込まれても受理できませんので、申込みは無効となります。

フリガナ			性 別 (注)
氏 名			
住 所	〒 —		
生年月日	昭和 ・ 平成	年	月 日生 ( 歳)
電 話	( ) —		
日中の連絡先 (携帯電話など)	( ) —		
取得希望免許 (○で囲む)	① 大型特殊自動車(農耕用限定)免許 ・ ② 免許を取得しない		
既取得免許 (○で囲む)	普通自動車免許を ① 取得している ・ ② 取得していない		
大特(農耕用 限定)免許の 必要な理由 (具体的に)			
経営規模	① 申請者の総耕作面積 ( アール) ※賃借地を含む		
主な作物 (上位2つ)	① 作物名 ( ) ( アール) 添付がない場合は、いかなる理由に関わらず優先書類選考対象となりませんのでご了承ください。 ② 作物名 ( ) ( アール) ③ 畜種名 ( 乳牛 ・ 肉用牛 ・ その他 ) ( 計 頭 ) ※畜産農家のみ記入		
所有するトラ クターの状況 (出力等を記入)			

※書類選考の参考にしますので、全ての項目にご記入ください。

(注) 性別は答えたくない方は記入不要です。

# 農業機械安全使用者養成講座 受講申請書

## 【けん引用】

申請日 令和 年 月 日

<b>申請者</b>	事業体等の名称	代表者の役職・氏名	
	個人でお申込みの方は受講者の欄にご記入ください		個人でお申込みの方は受講者の欄にご記入ください
住所	個人でお申込みの方は受講者の欄にご記入ください		
<b>受講者</b>	フリガナ	性別（注）	
	氏名		
	住所	〒	
	生年月日	昭和 ・ 平成 年 月 日生（ 歳）	
	電 話	（ ） —	
	日中の連絡先 （携帯電話など）	（ ） —	
	取得希望免許 （○で囲む）	① けん引免許 ・ ② 免許を取得しない	
	既取得免許 （○で囲む）	大型特殊自動車免許もしくは 大型特殊自動車（農耕用限定）免許を ① 取得している ・ ② 取得していない	
	けん引（農耕用 限定）免許の 必要な理由 （具体的に）		
	優先対象  （該当する方は ○で囲む）	① 認定新規就農者                      ② 認定農業者（本人 ・ 従事者等 ※○で囲む） ③ 集落営農組織の従事者              ④ ファームサービス事業体の従事者 ※①、②の本人は「認定証の写し」を添付。 ②の従事者等は「認定証の写し」と「従事者等であることを証するものの写し」を添付。 ③、④は「事業体の従事者であることを証するものの写し」を添付。 添付がない場合は、いかなる理由に関わらず優先書類選考対象となりませんのでご了承ください。	
経営規模 （※選考の参考 にします）	① 申請者の総耕作面積（                      アール） ※賃借地を含む、受託面積は含まない ② 年間受託面積（                      ヘクタール） ※ファームサービス事業体のみ記入		
主な作物 （上位2つ）	① 作物名（                      ）（                      アール） ② 作物名（                      ）（                      アール） ③ 畜種名（乳牛 ・ 肉用牛 ・ その他）（計                      頭） ※畜産農家のみ記入		
所有するトラ クターの状況 （出力等を記入）			

※ 受講者と申請者が同じ場合、申請者欄の「代表者の役職・氏名」、「住所」には「下記と同じ」とご記入ください。  
 けん引の受講には大特の免許が必要です。秋期クラスで大特を受講される方は、本講座を受講できません。  
 （注）性別は答えたくない方は記入不要です。

# 専門技術研修 受講申込書

申込 令和 年 月 日

希望クラス	野菜クラス ・ 花クラス ・ 果樹クラス (○で囲む)	
フリガナ		性 別 (注)
氏 名		
住 所	〒 —	
生年月日	昭和 ・ 平成 年 月 日生 ( 歳)	
電 話	( ) —	
ファクシミリ	( ) —	
日中の連絡先 (携帯電話など)	( ) —	
E-mail		

以下は書類選考の参考としますので、必ずお答えください。

1. 申し込み時点での農業に関する状況について、該当する番号を○で囲んでください。
① 既に就農している（専業） ( 年前から)
② 他の仕事をしながら農業もしている（兼業） ( 年前から)
③ 今は就農していないが就農する予定である ( 年 月頃から)
④ その他 ( )
2. これまでの農業の経験又は農業に関する研修受講の経歴を記入してください。
3. 受講を希望する作目は何ですか。
4. 当講座で学びたい事項は何ですか。
5. 当研修終了後の農業経営の予定について、できるだけ具体的に記入してください。

この申込書は就農支援のために利用するもので他の目的で利用することはありません。徳島県立農林水産総合技術支援センター内で共有化し受講後のフォローアップに役立てるため利用する場合があります。

(注) 性別は答えたくない方は記入不要です。



## 6 次産業化コース受講申込書

申込 令和 年 月 日

フリガナ		性 別 (注)
氏 名		
〒 住所		
Tel	携帯電話	
E-mail		
生年月日 昭和 ・ 平成 年 月 日 生 ( 歳)		

以下は書類選考の参考としますので、必ずお答えください。

1 申込み時点での農業に関する状況について、該当する番号を○で囲んでください。
(1) 既に就農している (専業) ( 年前から)
(2) 他の仕事をしながら農業もしている (兼業) ( 年前から)
(3) その他 (具体的に )
2 現在の経営内容 (栽培作物、面積、加工の有無など) について記述してください。
3 当講座に期待されていることは何ですか。
4 現在の経営をどのように改革しようとお考えですか。簡単に記述してください。

この申込書は、徳島県立農林水産総合技術支援センター内で共有化し、受講後のフォローアップに役立てるため利用する場合がありますが、それ以外の目的には利用しません。

(注) 性別は答えたくない方は記入不要です。

※ 番号

**【徳島かんきつアカデミー】**  
 令和 4 年度 生産技術力向上コース受講申込書

申込日 令和      年      月      日

徳島県立農林水産総合技術支援センター所長 殿

フリガナ		性 別 (注)
氏 名		
生年月日	昭和    ・    平成                  年                  月                  日 生 令和 4 年 4 月 1 日現在    (満                  歳)	
現 住 所 連 絡 先	(                  —                  )	
電 話	(                  )                  —	
携 帯	(                  )                  —	
E-mail もしくはファクシミリ		

- ・ この申込書は、就農支援のために利用するもので、他の目的で利用することはありません。ただし、受講後のフォローアップに役立てるため利用する場合があります。
- ・ ※番号は記入しないでください。
- (注) 性別は、答えたくない方は記入不要です。
- ・ 選択科目票 (様式第 2 号) に希望する科目を記入の上、併せてご提出ください。

## 令和4年度 徳島かんきつアカデミー選択科目票（生産技術力向上コース）

## 1 希望する選択科目（科目詳細は別紙1参照）

## 【記入例】

第一希望	
第二希望	
第三希望	

第一希望	I)接木と整枝剪定 II)果実栽培管理
第二希望	I)接木と整枝剪定
第三希望	II)果実栽培管理

※希望する科目I)、II)を記入してください(記入例参照)。

希望は、第三希望まで記入できます。

定員を超えた場合は、希望順位の高いものから優先して選考します。

## 2 営農状況等調査票

氏名：

1. 申し込み時点での農業に関する状況について、該当する番号を○で囲んでください。	
① 既に就農している（専業）（                      年前から）	
② 他の仕事をしながら農業もしている（兼業）（                      年前から）	
③ 今は就農していないが就農する予定である（                      年                      月頃から）	
④ その他	
2. 現在、耕作可能な農地面積はどのくらいありますか。	
現在栽培している農地（                      a）、休耕等で栽培していない農地（                      a）	
現在貸しているが返却予定のある農地（                      a）、その他（                      a）	
3. 現在、作物を作っている人は、その栽培品目と栽培面積を記入してください。	
作物名（                      ）（                      a）、作物名（                      ）（                      a）	
作物名（                      ）（                      a）、作物名（                      ）（                      a）	
4. 当講座に期待されていることは何ですか。	
5. 今後の農業経営について、栽培品目、栽培面積、販売額見込み、将来の構想などについて記入してください。（書く欄が足りない場合は、裏面もご使用ください。）	

【徳島かんきつアカデミー】  
令和4年度 中核的人材育成コース 受講申込書

徳島県立農林水産総合技術支援センター所長 殿

フリガナ		性 別 (注)
氏 名		
生年月日	昭和 ・ 平成 年 月 日 生 令和4年4月1日現在 (満 歳)	
現住所 連絡先	(〒 — )	
電 話	( ) —	
携 帯	( ) —	
E-mail もしくはファクシミリ		
<p>この申込書に記載した全ての事項について相違ありません。 また、私は、次のいずれにも該当していません。</p> <p>① 禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者</p> <p>② 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者</p> <p style="text-align: center;">令和 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">氏名 (自署)</p>		

- ・ この申込書は、就農支援のために利用するもので、他の目的で利用することはありません。ただし、受講後のフォローアップに役立てるため利用する場合があります。
- ・ ※番号は記入しないでください。
- (注) 性別は、答えたくない方は記入不要です。
- ・ 志望理由書(様式第4号)と併せてご提出ください。

※ 番号	
------	--

【徳島かんきつアカデミー】  
令和 4 年度 中核的人材育成コース 志望理由書

氏 名		
徳島かんきつアカデミー受講の動機、受講修了後の就農ビジョンなどについて、 具体的に記載すること。		
就農計画	就農希望地	
	就農形態  〔該当する□に チェックする〕	<input type="checkbox"/> 新たに農業経営を開始 <input type="checkbox"/> 親（三親等以内の親族を含む。以下同じ。） の農業経営とは別に新たな部門を開始 <input type="checkbox"/> 親の農業経営を継承（ <input type="checkbox"/> 全部、 <input type="checkbox"/> 一部） <input type="checkbox"/> 雇用就農 <input type="checkbox"/> 親元就農

記入上の注意：太枠内のみご記入ください。※番号は記入しないでください。